

# がんばれ後輩!

～新潟を離れたからこそ見えてくる地元の良さがたくさんある～



**Q1** Uターンする前は、どこにお住まいでしたか?

看護師として働いていた2年間、東京都に住んでいました。

**Q2** 新潟にUターンした理由は何ですか?

大学が新潟だったので、当初は県内での就職を考えていましたが、若い今のうちに東京で働きたいと考え、3年間を自由に東京の大学病院へ就職しました。結局、2年間働いた後、新潟に戻り今の職場に就職しました。

**Q3** Uターンする際の就職活動について、具体的な活動方法、活動のポイント、または苦労したことがあれば教えてください。

具体的な活動方法ですが、情報収集のほとんどはインターネットでした。夏頃から保健師として働ける職場を探し始め、電話で保健師の募集や職場環境などを確認しました。いくつかの職場には直接訪問して見学をしたり、話を聞いたりしました。既に地元で働いている友人からのアドバイスはとても役立ち心強かったです。活動のポイントは、自分自身がやりたい仕事やどんなことなのか、それができる職場はどうかという事を念頭にしっかりと置いておくことだと思います。また、先輩や友人から情報をもらったり、直接見て職場の雰囲気を感じたりすることも大切だと思います。苦労したことは、働きながらの就職活動で時間があまり取れなかったことや、何回もの東京と新潟の往復で、日程調整や交通費がかさんでしまうことに頭を悩ませました。新潟の企業が首都圏で行う合同説明会などを有効に利用できればもっと良かったと思います。

**Q4** 新潟にUターンして良かったと思うことや新潟の魅力について教えてください。

生まれ育った土地に戻り、自然豊かな環境の中でゆったりとした気持ちで過ごすことができます。家族や仲の良い友達と近くにいるだけで心強いです。職場が地元ということもあり、仕事で接する方々が小さい頃の私のことを知っていたり、私の家族の昔話やつながりを教えてくれたりと心なやませてもらえることがあります。

**Q5** 今の会社に入社した動機は何ですか?

看護師として働いている時、毎日が時間との戦いで怒涛のように過ぎていきましたが、その中でもゆっくりとケアに携われる時間が持て、患者さんと話げできた時にとても充実感を感じることができました。また、退院して病院から自宅への生活へ移行していくための支援をしているソーシャルワーカーの関わりを間近で見ていて、とても大事な仕事だと感じました。そういった経験の中で、病院から自宅へ戻るときに安心して生活していくための支援や、年を重ねても住み慣れた地域で安心して暮らしていくための支援がしたいと思い、今の職場に就職しました。

荒川 尚子さん / 保健師(看護師)  
燕市(旧吉田町)出身  
社会福祉法人桜井の里福社会  
弥彦村地域包括支援センター 勤務

**Q6** 今の仕事内容とその魅力、やりがいについて教えてください。

地域包括支援センターの業務内容は大きく分けて、介護予防ケアマネジメント、高齢者に対する総合相談と支援、権利擁護、地域のケアマネジャーの支援です。地域の方からの相談を受けたり、訪問したりして必要なサービスや資源の利用に結びつけたり、介護保険サービスを利用されている方のケアマネジメントをしたりしています。また、虐待の防止・早期発見のためのネットワーク作り、ケアマネジャーや事業所、行政等とのネットワーク作りにも努めています。今の仕事をして3年目ですが、支援をしている方々と少しずつ関係ができてきていて、相談事があると頼りにして一歩話をしてくれたり、逆に私を孫のように思ってくれて下さったりということがあり、とても嬉しく感じています。当法人は、「もうひとつのわが家づくり」を理念にしっかりとケアを信条とする法人です。看護・介護・生活相談員、職種を問わず興味のある方は、是非、施設見学にお越しくださいと思っています。

**Q7** 趣味や休日の過ごし方は?

ショッピングをしたり、東京ではできなかったドライブへ行ったり、地元の友達と会ったりとのんびり過ごしています。時々、病院と一緒に働いていた同期の友人に会いに東京へ遊びに行くこともあります。

**Q8** 県外にいる学生のみなさんへのアドバイスをお願いします。

東京で働いていた時間もとても大切に感じますが、一度新潟を離れたからこそ見えてくる地元の良さもたくさんありました。就職はとても大きな節目になると思いますが、今までの自分自身を見つめなおして、これからの将来を真剣に考える良い機会だと思います。積極的に動いて、たくさん悩んで、いろんな経験をして自分に合った仕事を見つけ出してください。



～新潟への就職相談窓口～

## にいがたUターン情報センターのお知らせ

「県外にいると新潟の情報がよく分からない」  
「新潟へUターンしたいけど、どうやって情報収集すればいい?」  
「情報収集はしてみたものの…たくさんありすぎて良く分からない」  
「エントリーシートを書いてみたけど、ちょっと不安」  
「東京と新潟、どっちに就職しようか迷ってる」  
「いずれは新潟に戻つつもり」 などなど、  
Uターン就職でお悩みの方、迷っている方、ぜひ一度「にいがたUターン情報センター」にお越し下さい。  
「にいがたUターン情報センター」は東京にある「新潟への就職相談窓口」としてUターン就職をお考えの皆さんをサポートしています。ぜひ、お気軽にご利用ください。

開庁時間 10:30～18:30 閉庁日 日・祝日・年末年始  
TEL 03-5771-7713  
所在地 東京都渋谷区神宮前4-11-7(表参道ヒルズとなり)  
アクセス JR山手線原宿駅より徒歩10分  
東京外口表参道駅A2出口より徒歩1分



●JR山手線原宿駅より徒歩10分  
●東京外口表参道駅A2出口より徒歩1分

新潟Uターン情報

# U-TURN



NIIGATA U-TURN INFORMATION!!  
2009 Vol.2

県内企業の採用活動、  
県内就職を決めた学生の就職活動、  
それぞれの立場から県内就職を考える。

## CONTENTS

保護者のための就活応援講座～子供の就職を、親はどうサポートするか～

- 採用担当者からの就活アドバイス  
～県内企業採用担当者によるパネルディスカッション～
- 内定を獲得した学生の就活体験談  
～現役学生3名によるパネルディスカッション～

Uターンした先輩のインタビュー  
がんばれ後輩!

にいがたUターン情報センターのお知らせ



発行 新潟県産業労働観光部労政雇用課 〒950-8570 新潟県中央区新光町4番地1 電話025-280-5270(直通)  
新潟地域振興局企画振興部 025-231-8171 長岡地域振興局企画振興部 0258-38-2546 上越地域振興局企画振興部 025-526-9431


# ～県内企業採用担当者による パネルディスカッション～





就職活動を行うにあたって、企業の採用担当者はどのようなことを考えながら採用活動をしているのか、とても気になることです。

今回は、県内企業採用担当者のパネルディスカッションを通じて、具体的にどのような採用活動をしているのか、学生たちのどんな部分を見ているのか、どんな人材を求めているのかなど、経験や事例をふまえて学生、保護者の皆様にアドバイスやメッセージをいただきました。

## 出演者

 ダイニチ工業株式会社 総務部人事課 課長 皆木 伸介 様

 新潟信用金庫 総務部 次長 杉澤 尚樹 様

 北陸ガス株式会社 総務人事部 人事グループマネージャー 清水 崇之 様  
(以下敬称略)



くらいから専門分野で実力を発揮していただくことになります。

■最近不景気だと言われていますが採用人数に影響が出ていますか。

(皆木) 影響は出ていません。業績も若干プラス気味ですので採用人数は減らしていません。基本的にあまり景気に関係なく大卒の採用は5名から7・8名くらい行っています。

(杉澤) 金融はあまり好不況の影響を受けない業種です。団塊世代の大量退職で採用を増やす時期はありましたが、本年度は例年と同じように採用する予定です。だいたい10～15名位を予定しております。

(清水) お客様が約35万件強いらっしゃいますが、そのうち9割強がご家庭のお客様ですので景気の影響を受けにくい会社です。また、途中で離職する方もほとんどいないので採用は毎年均等に10名程度行っています。

★3社とも影響ないということでしたが、新卒採用は会社内の年齢構成のバランスを考えながら行っているということもあり、ある程度の規模の会社ですと影響ないということのようです。一方、人手不足を新卒で補っていた会社は影響が出ており、一昨年のおよそ7割程度になっているようです。

■新潟で働く魅力や東京との違いはどこにありますか。

(皆木) 東京で規模の大きな会社に入ると、どうしてもその中で歯車の一つになってしまうと思います。新潟で、例えば当社のような400人程度の規模の会社に入ると、良い意味でお山の大将になれるのが新潟で働く魅力ではないかと思えます。また、自分のやった仕事の成果がどんなふうにも会社に影響を与えるか実感しやすい、見えやすいということもあります。こういったことが新潟の会社で働く魅力だと思います。



ダイニチ工業(株) 皆木さん

■採用を行う際、どんなポイントで学生を選んでいきますか。また、重視している点がありますか。

(清水) 当社の場合、筆記試験は行いません。学力面よりも社会で通じる能力があるかという点を見ている。具体的に言うと1次選考では事前にエントリーシートを提出していただきますが、A4用紙1枚で、様式をフリーとしています。そのフリーの様式の中で表現力・発想力・まとめる力などを確認しています。また、1次選考会では20～25名くらいの中で自己紹介をしてもらいます。大勢のお客様とお会いする仕事も多いため、どれくらい度胸があるのかというあたりを見ている。二次選考以降は1時間程度の面接を行います。その中で対面のコミュニケーション能力や、お客様と接するときに役立つ雑談力も知りたいと思っています。

(杉澤) 採用試験は筆記試験と面接試験になります。筆記試験は適性検査ですが、内容はSPI®のようなものです。それと作文になります。面接は集団ではなく個人面接となります。筆記試験では基礎能力を見ている。これは数学の公式や英単語のようなものではなく、「考える力」があるかどうか、あたえられた課題をどう解決していくかというあたりを見るためのものです。作文は文章構成力や表現力を見ている。そこをクリアすると次は個人面接になります。個人面接では

人柄、コミュニケーション能力などを見ている。金融機関ではお客様との対話が欠かせないので、コミュニケーション能力は大切です。学生時代のサークルやアルバイトの話は参考程度に聞かせてもらっています。

※SPIとは、言語能力・非言語能力・性格適性からなる就職採用テストです。

(皆木) 当社でも一通りの試験を行いますが、重視しているのは面接と論文です。当社の場合、400人で大手企業と同じ仕事をしているので1人あたりの守備範囲はとて広くなります。よって、幅広い仕事でも意欲的に挑戦する人が採用のポイントです。それから会社に対してどれくらい熱意を持って試験に臨んでいるかという点も重点を置いています。また、自分で考え自分で行動できる人か、というあたりも面接の中で話を聞きながら見ていきます。

■面接でよく聞く質問はありますか。

(清水) 多分どの企業も同じだと思いますが、会社の志望理由を聞きます。どれくらい企業研究をしているかで、その企業に対する気持ちの重みが分かってきます。また、学生時代のアルバイトやサークル活動に関する質問ですが、これはその中身より自分がどんな立場や役割でどんな課題を解決してきたのか、あるいはどんなチャレンジしてきたのか、そんなことを聞いています。それから親御さんの意向も聞いています。Uターンするのかどうかは企業側としてはとても気になることです。また、親御さんの意向を聞くのは、家庭内でのコミュニケーションがとれているかどうかを見るためでもあります。お客様のほとんどが一般のご家庭ですので、家庭内でのコミュニケーションがとれている人に従業員になってほしいと思っています。同様の目的で名前の由来を聞く場合もあります。

■印象に残っている学生のエピソード、保護者の方をお願いしたい事、アドバイス、メッセージ等をお願いします。

(皆木) 私からお願いしたい事は2つあります。1つ目はお子さん

にUターンしてほしいかどうかの意思表示をはっきりしてほしいということです。お子さんも「こういう仕事がしたいからどうしても東京じゃなきゃダメなんだ」という話もあるかもしれませんが、逆に親御さんがそういう意向であれば「それなら新潟に帰ろうか」という話もあるかもしれません。意思表示をはっきりさせることでお子さんも方向が定まると思えます。2つ目は最後の結論はお子さんに考えさせてほしいということです。親御さんの意向によって就職先を決めてしまうと入社後に困ったことがあった時、人のせいにしてしまうと思います。やはり自分で最終的な結論を出して後悔しないで社会に出てほしいです。

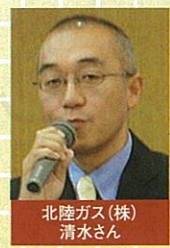
(杉澤) 今の学生はゆとり世代で育っていて大人しくて真面目なお子さんが多いようです。失敗を恐れるあまり引っ込み思案になっているように見えます。相手に対して訴えかけてくるものが少なく感じます。失敗してもいいから思い切って行けと親御さんから後押ししてほしいです。最も自分を理解している親がそう言うのであれば自分ももっとやれるという気持ちになると思います。それからUターンしてほしいかどうか、意向はきちんと伝えて下さい。きちんと伝えた方がお子さんは選択肢に迷わないと思います。東京・新潟と迷いながら活動していると最終的にはどちらも中途半端な状態になってしまいます。あとは自己分析です。自分がどんな人間か、よく見極めて欲しいと思います。採用担当はその人がこの会社に合うかどうかという点も見ている。この人が入社したらこの人の能力をどんな部分で伸ばせるかなという点も見ている。自己分析をしっかり行うことによって自分にどんな仕事に向いているのか分かってくると思います。お子さんの能力や性格は親御さんが誰よりもご存知ですので、ぜひ自己分析のアドバイスをぜひ欲しいと思います。

(清水) 新卒採用と転職は企業としては全く別の採用となります。転職というのは即戦力、新卒採用というのは企業に馴染むか、潜在能力などを見ているので門戸としては転職よりかなり広いと思います。いずれ新潟に戻ってほしいというお考えであれば新卒の時に戻った方がいいんじゃないかというアドバイスをさせていただいた方がいいかと思えます。それから今の就職活動は非常に長丁場となります。しかも受験のように点数をとれば合格できるものではなく、数値では測れない将来性や潜在能力、企業とマッチングするかどうかといった点が判断基準となります。どんなに用意周到に準備しても思いどおりにならないこともあります。気持ちも不安定になることもあるかもしれませんが、これは自分でしか乗り越えられません。できるだけ見守っていただいて応援をするサポーターであっていただきたいと思えます。



★親御さんはお子さんに対してアドバイスをしたり、サポート的な立場で見守っていただきたいということですね。そして、なるべく早いうちにお子さんと将来のことについて話し合っていたらと思います。

本日はありがとうございました。






北陸ガス(株) 清水さん

員について仕事を教わり、2年目から独立立ちをしてもらいます。会社としては全員に定年まで働めていただきたいと思っていますのでキャリアアップのお話をさせていただきますと、10年目くらいまではジョブローテーションという形で部門間も含めた異動を3回くらい行います。それによってガス会社の全体像を把握してもらいます。その間に自分の適性や得意分野が見えてきますので30代

# ～現役学生3名による パネルディスカッション～

長期にわたる就職活動、実際にこの活動を終えて内定を獲得した学生達がどのような就職活動を行ってきたのか、どんな事を考えながら活動していたのか、保護者とどのような関わりをしてきたのか等、就職活動を終えた学生から本音を聞いてみました。

## 出演者

-  埼玉大学 教養学部 (商社 内定) 小川 健太 さん
-  新潟大学 人文学部 (印刷業 内定) 友坂 美希 さん
-  新潟大学 法学部 (公務員 内定) 道下 陽平 さん



(小川) 受験は15社で内定は2社でした。両方4月半ばでした。  
(友坂) 受験は12社で内定は1社でした。ゴールデンウィークの頃です。  
(道下) 民間企業は3社受験しましたが、内定は頂けませんでした。

### ■就職活動中はどんな悩みがありましたか？また、その悩みをどのように克服していききましたか？

(小川) 自己分析で悩みました。自分がどういう人間で、それを面接の時にどうアピールすればいいのかすごく悩みました。自分の事を良く知っている人に話を聞いて、そこから自分がどういう人間なのかという事をまとめていきました。  
(友坂) 頑張って書いたエントリーシートが通らなかつたり逆にダメかなあと思った面接が通ってしまったり、すごく頑張って挑んだのに通らなかつた時はやはりショックでした。そんな時は友人とご飯を食べに行ったり、悩みを聞いてもらったりしていました。  
(道下) 一番悩んだのは活動の方向性です。公務員も目指していたので、どれくらいの力を民間企業にさかかという点です。最終的には両親に相談しました。その時に「自分が何になりたいのかを一番に考える」と言ってもらえてすごく嬉しかったです。

### ■自己分析をする際、自分の事を誰に聞きましたか？また、なぜ自己分析が必要だと思いますか？

(小川) 家族に一番聞きました。地元の同級生や大学の友人にも聞きました。  
(友坂) 面接は短い時間の中で自分をアピールしなくては行けないので、自分自身が自分自身を知るの大切なのだと思います。

### ★自己分析の際、保護者の皆様はきっとお子さんから聞かれると思います。最もお子さんの事をご存知なのは保護者の皆様ですので、ぜひ協力してあげてください。

### ■就職活動中に心がけていて良かったことはありますか？

(小川) 気持ちの切り替えを意識してやっていました。面接、エントリーシートで落とされた後、次の選考に向けてがんばろうと、とにかく気持ちの切り替えを意識していました。  
(友坂) いつも良い表情をすることを心がけました。人事担当の

### ■去年の今頃(11月)、どのような就職活動をしていましたか？

(小川) 関東で行われていた合同企業説明会や、セミナーに参加して、就職活動ってこういうものなんだなあという感じでした。  
(友坂) 今の時期はまだ何もしていませんでした。12月に初めて合同企業説明会に参加して、周りの動きを見ていたら「これはまずい」と焦り始めてそれから本格的に始めました。  
(道下) 公務員向けの講座は6月頃から受けていました。民間企業に関しては合同企業説明会に参加したり、就活サイトに登録したりしていました。



### ■合同企業説明会に参加した時期や回数を教えてください。

(小川) 初めて参加したのは9月の末でした。年内で合同企業説明会には行き終えて合計12、3回参加しました。新潟でも参加しました。  
(友坂) 12月から2月にかけて6、7回参加しました。  
(道下) 合同企業説明会には積極的に参加しました。初めて行ったのは11月下旬で自分には、どんな企業が合うのかを見るようにしていました。

### ■道下さんが民間企業も見ようと思ったのはなぜですか？

(道下) 説明会を通して自分が働きたいと思う業界を徐々に探していったという感じです。また、公務員試験も最近面接重視で最終的には面接を突破しないと合格できないので、面接のための力をつけたいと思い参加しました。

### ■会社説明会(単独)に参加した時期と何社くらい参加したか教えてください。

(道下) 初めて参加したのは12月中旬でした。民間企業は抑え目にしようと思いましたが、それでも7、8社くらい参加しました。  
(友坂) 1月後半から参加して25社くらいです。2月は毎日のように参加していました。  
(小川) 1月半ばから参加して全部で30社くらい参加しました。

### ■受験したのは何社ですか？そのうち内定をもらえた社数と時期は？

方からも印象はいいし、良い表情をしていれば良いことがやってくる気がして。前向きな気持ちを心がけました。  
(道下) 体調管理に一番気をつけました。具体的には早寝早起きを心がけました。

### ■年末年始はどんな気持ちでどんな活動をしていましたか？

(道下) 民間企業の活動にウエイトが大きくなったので、公務員試験に力がさげず、勉強が進まず、模擬試験も点数が伸びなくなり苦しい時期でした。  
(友坂) どんな業界が良いか考え始めた時期で、私の場合は色々な企業を見ながらどんな仕事したいか考えていたんですけど、周りの友人は自己分析をして、自分はこんな人間でこんな事をしたいという延長線上で企業を選んでいて、自分の選び方で良いのか不安でした。  
(小川) 年末年始は帰省しませんでした。アルバイトをしながら面接の練習や、エントリーシートを書いたりしていました。1月4日に朱鷺メッセで合同企業説明会があり日帰りで参加しました。



### ■学校の試験が終わって春休みに入る頃(2月頃)はどんな活動をしていましたか？

(小川) 実家が十日町市なので新潟で活動するのは交通の便も悪く大変ですが、妹が春から新潟市内で一人暮らしをすることになっていたので、3月からそこに住んで活動していました。  
(友坂) 2月のスケジュールを毎日企業の説明会で埋めて、やるしかない、後戻りはできないという気持ちで、覚悟を決めて取り組みました。  
(道下) 受験する民間企業を絞り始めた時期でした。面接の練習やエントリーシートの作成をしていました。

### ■ゴールデンウィーク頃は何をしていましたか？

(小川) 4月に内定をもらっていたので就職活動は終わっていました。  
(友坂) 内定を頂いた企業から最終面接の翌日、電話で、「内定を出したら必ず来てくれますか？必ず来てくれる人にだけ内定を出します。」と返事を求められ、希望していた業界だったのでそこに決めましたが、ゴールデンウィーク中は本当にこの決断で良かったのか迷っていました。  
(道下) 民間企業の受験は一通り終わっていましたが、私の場合はここから本番だったので、毎日机に向かっていました。

### ■就職について両親にいつ頃話をしましたか？

(小川) しっかりと話したのは去年(大学3年)の夏、お盆に帰省した時でした。「僕は新潟に帰りたんだけどどう思う？」と聞いたところ、両親は「お前の好きにしたらいい。」と言ってくれたので、安心して新潟に帰って来ようという気持ちになりました。  
(友坂) 3年の12月に就活を始めた頃でした。両親とはよく話す方でしたが、両親からは就活の話をしてこなかったから自分から切り出しました。  
(道下) 最初に話したのは公務員試験対策の予備校に通い始める6月頃でした。学費がかかり、自分一人で決断するわけにはいかなかったから、「自分は公務員試験を第一志望に考えている。」と、だいたい方向性はこの時期に話しました。反対はされませんでした。リスクが高いので内心不安だったかも知れませんが、

が、自分の決断を尊重してくれて嬉しかったです。

### ■その後は両親とはどんな話をしましたか？

(友坂) 両親と就職活動に関してほとんど話はしませんでした。内定をもらった後「あなたが選んだ会社ならきっといい会社なんだと思うよ。」という言葉をかけてもらい、すべて信用して私に任せてくれていたんだと分かって嬉しかったです。それ以外にも家に帰って家族がいるので愚痴も言えて、ストレス発散になりました。  
(小川) 僕が連絡をして状況報告をして、話や愚痴を聞いてもらっていました。両親の方から「今どうなっているんだ？」と言ってくることはありませんでした。僕も不安だったので定期的に連絡していました。  
(道下) 民間に全滅して両親は不安だったと思います。日常的に話していた訳ではありませんが、月に1回くらいは時間を設けてじっくり話し合っていました。

### ■ありがたかった両親のサポートはありますか？

(小川) 3つあって、1つ目はお金です。どうしてもいろんなところでお金がなくなってしまうので、そういう時は何も言わないう銀行に振り込んでくれてすごくありがたかったです。就活のモチベーションにも繋がりました。2つ目は自己分析で悩んだ時、自分では気づかなかった、思い浮かばなかった事を教えてもらってありがたかったです。「昔から何でもコツコツやっていた。」と言ってきて、やっぱりよく見ていてくれるなと思いました。3つ目は、実家に帰った時に美味しいご飯を作ってくれるということです。



(友坂) 私が愚痴を言った時に聞いてくれてありがたかったです。それから、「もし就職活動がうまくいかなくても人生は長いから大丈夫だよ。」と言ってきて、だいぶ楽になりました。  
(道下) 一番大きかったのは精神的な部分です。自分がどこを向いていいか分からない時に「自分の一番やりたいことにどんなリスクがあっても力を注ぐのがいいんじゃないか。」と、何気ない一言で背中を押してくれたのがありがたかったです。

### ■最後に社会人になるにあたっての決意表明をお願いします。

(道下) 公務員は色々な分野で働く機会が多いので、ひとつひとつ仕事を重ねて新潟の皆さんに貢献できる仕事をしていきたいし、そういった能力を身につけたいと思っています。  
(友坂) 内定先の企業の方と話すや挨拶が良かったり、表情が良かったり、キラキラしていました。早く自分も立派な社会人になって相手にそういう印象を与えられる人になりたいです。  
(小川) 関東の大学に行って地元新潟の良さを肌身に感じました。自分が働く上では新潟を元気にしたいという想いで就職活動を進めてきました。内定先がお酒を扱う商社なので、酒屋さんや居酒屋さんの売上げを伸ばすことが、社会人として自分が新潟で働いていることに意義がある、そういう意識をもって働きたいと思っています。

### ★食事や体調管理、身の回りの事や優しい一言など、保護者の方の何気ない気づかいが、実はとても大きいサポートになります。ぜひ温かく見守っていただけたらと思います。

本日はありがとうございました。